

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

備後MIRAI住宅

グループの名称

住まい手の未来を考える会

直近採択グループ番号

06-0723-0646

(グループ代表者)

代表者名

原 直樹

代表者印

代表者所属先

府中硝子トーヨー住器株式会社

代表者所在地

広島県府中市三郎丸町1067-1

代表者電話番号

0847-43-4581

(グループ事務局)

事務局事業者名

府中硝子トーヨー住器株式会社

事務局担当者名

原 直樹

印

事務局郵便番号

726-0026

事務局所在地

広島県府中市三郎丸町1067-1

事務局電話番号

0847-43-4581

事務局FAX

0847-43-5015

事務局担当者E-mail

f-garasu@sky-net.or.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	備後MIRAI住宅
2. グループの名称(必須)	住まい手の未来を考える会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0723-0646
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	備後地域、広島県、岡山県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	原 直樹
7. グループ代表者の所属先(必須)	府中硝子トーヨー住器株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	広島県府中市三郎丸町1067-1
9. グループ代表者電話番号(必須)	0847-43-4581
10. グループ事務局事業者名(必須)	府中硝子トーヨー住器株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	原 直樹
12. グループ事務局郵便番号(必須)	726-0026
13. グループ事務局所在地(必須)	広島県府中市三郎丸町1067-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0847-43-4581
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0847-43-5015
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	f-garasu@sky-net.or.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	構成員ではない海外の原木供給事業者から供給する為
II. 製材・集成材製造・合板製造	9	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	12	
IV. プレカット	6	
V. 設計	7	
VI. 施工	10	
VII. 木材を扱わない流通	7	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	岡山県産材	岡山県	合法木材証明制度	3	国内
	広島県産材	広島県	合法木材証明制度	3	国内
広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸	
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		2	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸	
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸	
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸	
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
					上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
						上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
						上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		10	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
				上記の内、三世帯同居加算を要望(上限30万円)		戸		
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸		
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
				上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟				
		未経験施工業者を優先的に配慮しつつ、万遍なく補助金が行き渡るようにする。						
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)							
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)							
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	4	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
優良建築物型								
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸			
採択床面積	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	m <sup>2</sup>			



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後MIRAI住宅	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 住まい手の未来を考える会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0723-0646	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	備後地域の気候に対応した住みやすい確かな以下の基本性能を標準とする 【住まい手のMIRAIの確保】 強い日射と昼夜の厳しい寒暖差に対応する快適な断熱性・遮熱性と住まい手の健康安心性能 (快適性MIRAI)→断熱等性能等級4をクリアした上で、建設地の省エネ区分において、ワンランク上の基準(UA値・ηA値)を推進する。(健康性MIRAI)→ホルムアルデヒド対策等級3の基準をクリア	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【住まいの長持ちMIRAI】 □劣化対策 →1)ベタ基礎 2)基礎高400mm 3)ユニットバス(システムバス)を標準とする □『維持管理対策等級3』の基準の内、下記のどれかを最低1つクリアする →専用配管が、壁、柱、床、はり及び基礎の立ち上がり部分を貫通する場合を除き、コンクリート内に埋め込まれていないこと。 →地中に埋設された管の上にコンクリートが打設されていないこと。 →専用の排水管には、掃除口が設けられているか、又は清掃が可能な措置が講じられトラップが設置されていること。 □『耐震等級2以上(長寿命型のみ)』を標準とする	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	□瀬戸内の気候に対応した過ごしやすいデザインを心がける。 →瀬戸内の風向きを考慮した窓の配置を心がける。(風通し) →住宅性能評価項目『光・視環境に関すること』における、単純開口率を計算し、採光に考慮した住宅の提供を心がける。(日当たり)	◎
④①～③の背景	□福山市は広島県南東端に位置し、「備後」地域と称され福山市が中心都市となり、備後都市圏を形成している。福山市の気候は瀬戸内海式気候であり、夏季には日中の気温は35℃を超える猛暑・酷暑となり、冬から春にかけては中国大陸から流入する黄砂が多い。降水量が少なく、河川の流量が少ないのが特徴である。他方、製造業や商業基盤が特に集中し都市集積度は高い。2012年経産省資源エネルギー庁から「福山市次世代エネルギーパーク」の認定を受けている。また、備後の歴史は7世紀から継承され、多くの伝統文化と伝統工芸を育てている。 以上を背景を元に当グループの地域住宅のコンセプトを【備後の未来(地産地消・地域振興)】・【住まい手の未来(高性能住宅)】をとし、福山の風土に合った住みやすい住宅を提供する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	【備後の地産地消・地域振興】→備後エリアにおける地場産品・伝統工芸品を選出し、いずれかを地域型住宅に使用、或いは贈呈する。 ・【地場産品】広島県天然木化粧合板の使用。 ・【伝統工芸品】福山市松永の下駄の贈呈 ・【備後伝統工芸品】府中桐箱(府中家具)の使用又は贈呈する。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
a		
①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: □主要構造材の標準寸法は、105mm角、120mm角に統一してコストを下げる。	◎
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: □高気密・複層ガラス仕様の高性能サッシ □遮熱高断熱Low-e複層ガラス	◎
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: □キッチンの節湯水洗 □節水型トイレ □浴室の小流量吐水機能付きシャワー □洗面の水優先吐水	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: □一部の住設(建材)については、流通店である事務局が、共同化を行っている	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: □事務局が中心となり、一部調達事務の合理化を行っている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: □流通店である事務局に検討委員会を設置している。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: □2か月に一度の生産会議の開催と運営	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: □商材を記載したガイドラインを作成し、グループ内で共有していくことで、生産体制の効率化、合理化を図る。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: □第3者機関による地盤報告書の作成とお客様への提出 地盤調査において、第三者機関による報告書を作成し、住宅所有者に報告書を報告提出、住宅履歴情報とともに長期に登録保管する	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: □グループ共通の見積書を作成している。 □一式価格での表示を止め、適正価格表示をしている。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: □20年間地盤保障を推奨し、住宅瑕疵担保責任保険に加入する。 □地盤液状化診断(簡易)の実施	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	□ ない ■ ある → 内容: □可能な限り週休2日制を導入している。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: □取組に向けて賃金や福利のあり方の情報提供を行い、各社のバラツキを平準化して行く。	○
③ 社会保険への加入	□ ない ■ ある → 内容: □各社での取組を必須としている。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: □各社での取組を必須としている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後MIRAI住宅	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 住まい手の未来を考える会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0723-0646		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 長寿命型・高度省エネ型に関わらず、第3者住宅履歴情報機関であるサービス機関で情報保管と蓄積を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 第3者住宅履歴情報機関で全棟情報保管と蓄積を行う。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 情報サービス機関からの報告。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> グループ共通の住宅履歴情報記入シートに準じた点検を行う	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 補修内容、補修箇所、補修実績は、点検履歴を第3者機関に随時報告し、履歴の蓄積を行う。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 住宅の履歴情報閲覧による確認。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> お客様向けの相談会を年に2回グループ共同で実施する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 会員各社により、2か月に1度程度、リフォーム相談会や、展示会などのイベントを行っている。	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 会員各社により、2か月に1度程度、リフォーム相談会や、展示会などのイベントを行っている。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 定例会(2か月に1度程度)を実施していく。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> グループ構成員同士による助け合いの仕組みをつくる。廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテナンス等のサポートを実施する。その際には情報サービス機関によって保管・管理している住宅履歴情報を活用しスムーズな実施を実現する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 定例会の中で、不定期だが議題に上げ、情報共有を行っている。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 地域型住宅の提供にあたっては、各制度の実施経験のある施工会社をグループ構成員(技術アドバイザー)として迎え勉強会を実現する。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 定例会実施と実績報告によるグループ内での品質管理。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 事務局が、定例会開催を把握し、運営する。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 過去の実績に基づいて、グループ全体の受注予測や活動方針を立てている。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 2020年度までにZEH住宅比率を50%以上の計画にしている。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 4	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 8 今年度の参加目標人数 4	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 省エネ技術講習会予定日を把握して、未受講者へ通知する。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> HEAT20におけるG2レベルへの誘導。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: <input type="checkbox"/> 現状の仕様を向上させるために既製品を利用しながら、コストアップをできるだけ少なくする情報の提供を行っている。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 備後MIRAI住宅	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 住まい手の未来を考える会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0723-0646	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p>③ 標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <p>④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p>	<p>・選定した下記の地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)に50%以上使用する。 ・2次部材についても地域材を積極的に使用する。ただし、使用部位、使用割合は決めない。 ①『広島県産材産地証明制度』または『合法木材証明制度』による広島県産材 ②『合法木材証明制度』による岡山県産材 ③『合法木材証明制度』による国内・海外産の合法木材</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満    <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上    <input type="checkbox"/> 80%以上</p> <p>主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</p> <p>【補足】地域型住宅の地域材供給の流れについて ・原産国が海外の合法木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難な場合が多々ある。その為、海外の合法木材を使用する場合は、原木供給、製材に該当する業者は構成員に含まず、流通グループに所属する構成員による合法性の証明によって代替する。 ・原木が国有林等から供給される地域があるため、該当地域においては供給ルートに原木供給業者が含まれない。 ・一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 ・一部の施工グループの構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。</p>
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測</p>	<p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: □事務局を通じて一部木材ルートに在庫確認をおこなっている。</p> <p><input type="checkbox"/> ない    <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: □事務局を通じて一部木材ルートにヒアリングを実施し、共有化を図る。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □事務局を通じて一部木材ルートに需給予測確認をおこなっている。</p>
c	<p>①-1 畳の活用</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <p>①-3 襖の活用</p> <p>①-4 障子の活用</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用</p>	<p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □和の仕様を積極的に提案していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □和の仕様を積極的に提案していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □和の仕様を積極的に提案していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □和の仕様を積極的に提案していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □備後文化継承の面から、和の仕様を積極的に提案していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □備後文化継承の面から、和の仕様を積極的に提案していく。</p>
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組</p>	<p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □備後・瀬戸内の気候に対応した過ごしやすいデザインを心がける。(風通し、採光) □お客様へと地域伝統の面から備後工芸品等の使用を提案していく。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 【備後の地産地消・地域振興】 ・“備後の未来”に貢献する地産地消の実施する。 備後エリアにおける地場産品・伝統工芸品を選出し、いずれかを地域型住宅に使用、或いは贈呈する。 ・【地場産品】広島県天然木化粧合板の使用する。 ・【伝統工芸品】福山市松永の下駄の贈呈 ・【備後伝統工芸品】府中桐箱(府中家具)の使用又は贈呈する。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □周囲の景観、条例を考慮し、違和感のないデザイン、色調を取入れる。</p> <p><input type="checkbox"/> 行っていない    <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: □和の住まいを積極的に提案していく。ただし住まい手の意向を第一とする。</p>
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 備後MIRAI住宅	(地域型住宅供給対象地域) 備後地域、広島県、岡山県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 住まい手の未来を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0723-0646	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p><b>【当グループのゼロエネルギー提案住宅の特徴】</b></p> <p>①地場中小工務店は、申請事に対して、苦手意識が強く、回避する傾向が見られる。その為、当グループにおいて、ゼロ・エネルギー住宅においてはBELSを条件とする。認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅においてもBELSを推奨する。その他補助金受給に関わらず、外皮計算及び一次エネルギー計算が自社で対応できるよう、定例会で、勉強会を実施し、知識修得を行っている。</p> <p>②ゼロエネルギー評価方法と評価 (様式5 抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価方法:平成28年改正度省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法に準じた評価方法</li> <li>・モデルプラン評価結果</li> </ul> <p>1)《備後MIRAI住宅4地域》 エネルギー削減率 (全体R)101.0% (太陽光発電を除くR0) 28.0% (太陽光発電) 6.00kW</p> <p>2)《備後MIRAI住宅5地域》 エネルギー削減率 (全体R)103.0% (太陽光発電を除くR0) 30.0% (太陽光発電) 4.80kW</p> <p>3)《備後MIRAI住宅6地域》 エネルギー削減率 (全体R)105.0% (太陽光発電を除くR0) 32.0% (太陽光発電) 4.80kW</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。